

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測








◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Solana	 Sui	 Hedera
中堅	 Sei	 Raydium	 Helium
新規	 Babylon		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 4/18

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#6	 Solana	Layer1	¥9,890,857,952,439	¥19,153.36	2.79倍 (ETH比)	▲16.78%
#17	 Sui	Layer1	¥974,701,460,363	¥299.90	28.32倍 (ETH比)	▼2.08%
#18	 Hedera	Layer1	¥963,473,390,287	¥22.81	10.27倍 (SOL比)	▼5.82%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲2.38%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Solana : SOL



本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：機関投資マネー流入とネットワーク安定化が鍵

4/10、カナダでSolana現物ETFの提供が開始され、機関投資家の新たな投資ルートが整備されました。これに先立ち、スイスやドイツではステーキング付きETPも既に上場済みです。高速処理性能と活発なdApp展開に加え、Firedancerなどの安定化対策も進行中。安定性と制度対応が両立すれば、中長期的にSOL価格の押し上げ要因となる可能性があります。

Sui : SUI

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：米大手証券取引所Cboe、「Sui」現物ETF申請へ

2025年4月8日、米大手証券取引所Cboe（シカゴ・オプション取引所）は、ブロックチェーン「Sui」の現物ETF「カナリー・スイETF（CANARY SUI ETF）」の上場を申請しました。Cboeはビットコイン現物ETFでも複数銘柄の上場先となった米国有数の取引所であり、その申請はSuiに対する制度的信頼の表れといえます。もし承認されれば、規制下でのSUI投資が可能となり、機関投資家による資金流入が見込まれます。エコシステム拡大とあわせ、価格への中長期的な追い風となる可能性があります。

Hedera : HBAR

本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。



注目ポイント：企業 & AIユースの進展が価格押し上げ要因に

4/8、HederaはChainlinkのクロスチェーン通信プロトコル「CCIP」の導入を発表。これにより、Hedera上のdApps開発者は、46以上の他ブロックチェーンと簡単かつ安全にトークンやメッセージをやりとり可能に。さらに4/14には、NVIDIAとのAI連携によるリアルタイム検証技術の提供が発表されました。大企業中心のユースケースが進めばネットワーク手数料需要が拡大し、中長期的にHBAR価格の上昇要因となる可能性があります。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/18

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

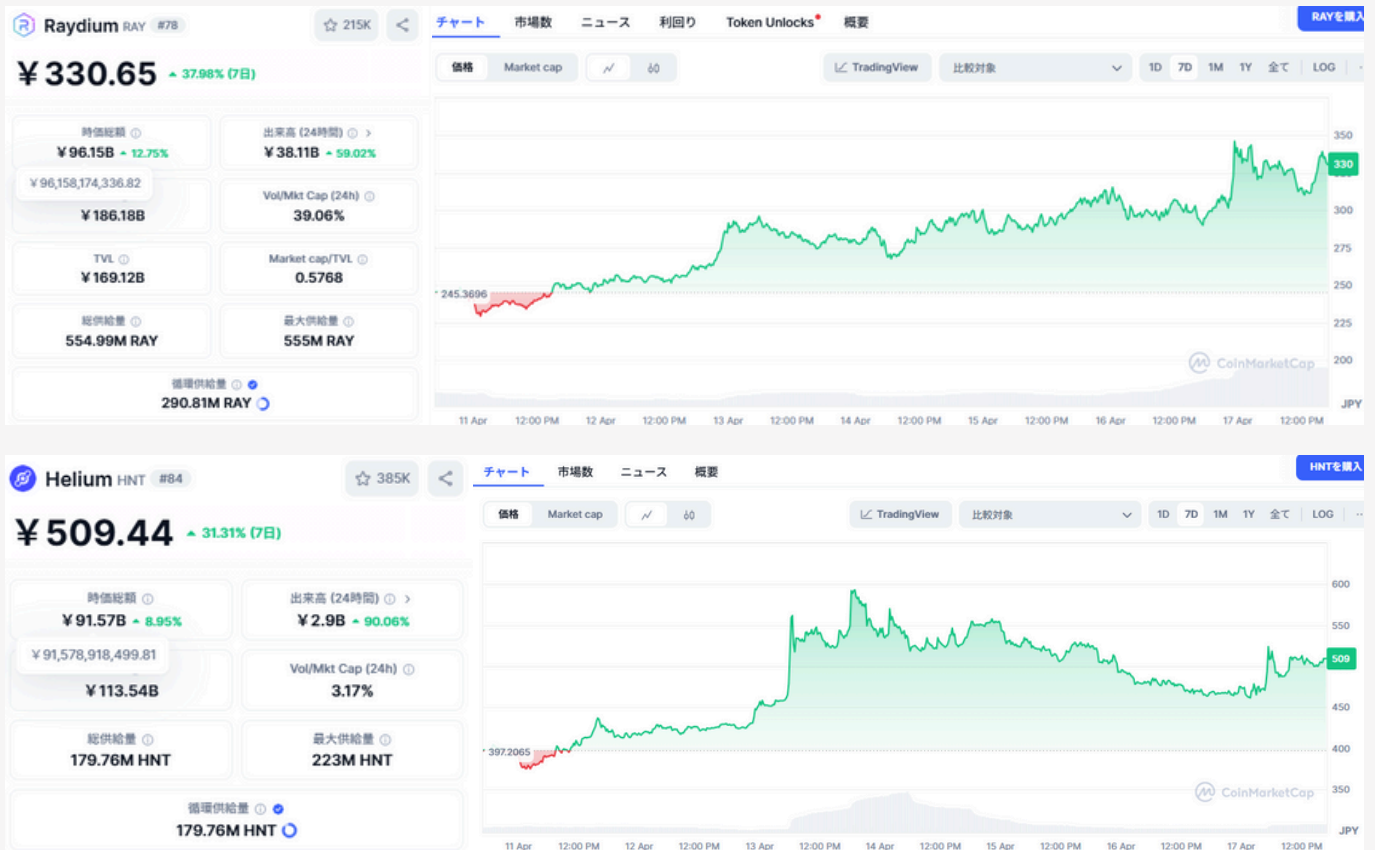
検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#68	 Sei	Layer1	¥123,678,616,459	¥24.21	79.97倍 (SOL比)	▲11.52%
#78	 Raydium	DEX	¥96,158,174,336	¥330.65	4.91倍 (UNI比)	▲37.98%
#84	 Helium	DePin	¥91,578,918,499	¥509.44	3.16倍 (RENDER比)	▲31.31%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▲2.38%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Sei : SEI

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：大口投資と供給拡大が交錯する注目フェーズへ

4/13、米トランプ一族が関与するとされるDeFiプロジェクト「World Liberty Financial (WLFI)」が、約489万枚のSEIトークンを取得したことが報じられ、コミュニティ内で注目が集まりました。また、4/15にはCirculating Supplyの約1.14%にあたる5,556万SEIがロック解除され、市場に新たな供給が加わる予定です。今後は、エコシステムの実利用拡大や取引インフラ整備が、需要面からこの供給増を吸収できるかどうかが**焦点**となります。大型投資の信頼性と市場への流動性増加が同時に起こる中、中長期的には実需主導の成長が問われるフェーズに入ったと言えるでしょう。

Raydium : RAY

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：LaunchLab始動：Solanaミーム市場に反撃開始

4/16、Raydiumは トークンローンチ機能「LaunchLab」を公開。誰でもSolana上でトークンを作成・売却可能となり、Pump.funに流れていた需要の呼び戻しを狙います。GMGNやTrojanなど他dAppとの連携も発表され、新規トークン発行の起点となれば、手数料収益増を通じて中長期的な価格上昇が見込めます。成功にはユーザー定着とユース事例の積み上げが鍵。

Helium : HNT

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：規制問題の終結：SECが訴訟を正式撤回

4/10、米SECがHeliumの開発元Nova Labsに対する訴訟を正式に取り下げ、HNTを含むトークンが証券に該当しないと明示。市場はこれを好感し、HNT価格は当日15%以上上昇しました。長らく続いた規制リスクが解消されたことで、今後はIoT・5Gネットワークとしての拡張が進めば実需ベースでの価格押上げが期待できます。法的不安の除去はDePINセクター全体にも好影響。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/18

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間 のCMC推移
#179	 Babylon	Bitcoin Ecosystem	¥27,690,157,066	¥12.07	4.61倍 (STX比)	▼16.98%



Babylon : BABY

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。※月次分析レポート掲載銘柄(掲載月：2024年3月)

注目ポイント：BTCステーキング型L1が本格始動

2025年4/10、Babylonがビットコインを活用した新L1チェーン「Genesis」の始動で Babylon は BTC 57,000 枚超（約46 億ドル）という巨額の預かり残高を正式に稼働させました。Genesisは「BTCステーキングネットワーク」としてビットコインのセキュリティを他チェーンへ供給し、報酬はBTCステーカーとBABYステーカーで折半される仕組みです。14万超の参加者と250社以上のファイナリティ・プロバイダーが支えるこのモデルが、広く受け入れられれば、TVL増加が価格の下支えとなり、中長期では再評価余地が生まれると考えられます。

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>